

〈巻頭言〉
刊行にあたって

清水 明

今年 2025 年は、愛・地球博以来 20 年ぶりの万博となる、大阪・関西万博が開催され、好評のうちに閉幕しました。

この万博のシンボルとなった建物が大屋根リングです。この大屋根リングは、日本の神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な「貫（ぬき）接合」に現代の技術を融合させ、約 2 km の巨大なリング状に組み上げられており、世界最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定されています。

日本の伝統的な木造建築技術は、世界最古の木造建築として知られる法隆寺のような歴史的建造物から現代の木造住宅まで、幅広い建築に用いられています。

神奈川県内にも、歴史的な木造建築から最新の高層純木造建築まで、様々な木造建築が存在します。例えば、横浜市には日本初の高層純木造耐火建築物「Port Plus」があり、小田原市には木造耐火技術を用いた複合施設「ミナカ小田原」があります。また、相模原市には江戸時代に建てられた古民家「石井家住宅」も残っています。

様々な場面で私たちの生活を支えてくれているものづくりの技術。

神奈川県立川崎図書館では、様々な「ものづくり文化」の紹介を通して、皆様にもものづくりに興味をもっていただくとともに、専門図書の提供やイベントの開催、相談事業の実施などにより、ものづくりを支援しています。

しみず・あきら
(神奈川県立川崎図書館長)